

第 1 学年道徳学習指導案

日 時 平成26年10月1日(水) 第5校時
授業者

1 主題構成表

主題名 どこでやめるのか

資料名 「かぼちゃのつる」(出典 文溪堂)

■ 内容項目 1ー(1)

健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。

■ 内容項目から見た児童の実態(意識)

- ・注意を受けても素直に聞こうとしなかったり、自分勝手な行動を押し通そうとしたりして、けんかをしたりまわりの人に迷惑をかけたりすることがある。
- ・誰かが痛い思いをしたり、嫌な気持ちになったりすることによって初めて、自分勝手な行動がいけないことに気付くことが多い。

■ 要因

- ・人の注意を素直に聞き、わがままと抑え、他の人を思いやることが、自分も周りの人も気持ちよく生活できることに気付いていない。

■ 価値の分析

- ・基本的な生活習慣の中で、自分のわがままな気持ちを抑えて生活する態度は、とても大切である。自分さえよければよいという自己中心的な生活態度では、集団の中で気持ちよく生活することはできず、他人に迷惑をかけてしまうことになる。
- ・1年生のこの時期では、自己中心的な傾向が強く、衝動的になりがちである。そうならないために、自分の思うままに行動するのではなく、深く考えて行動し、人の意見をしっかり聞こうとする態度が必要である。

■ 資料の分析

- ・自分勝手にわがままなかぼちゃが、自分のしたい放題につるを伸ばしていく。ハチやチョウ、スイカやイヌの忠告を聞かずに道まで勝手につるを伸ばしていくが、最後には、車につるを切られて涙をこぼして泣くという話である。
- ・ハチやチョウ、スイカに注意をされても聞き入れようとせず、イヌに踏まれてもそんなことぐらい平気だと、自分勝手な行動を押し通し、周りの迷惑を考えていないことを十分につかむことができる。
- ・わがままと押し通していたかぼちゃが、つるを切られて初めて、自分の自己中心的な行為に気付き、わがままとをしないで生活することの大切さを押さえることができる。

■ ねらい

わがままとをしないで生活することが、自分にとっても相手にとっても気持ちのよい生活につながることに気付き、自ら節度ある生活をしようとする心情を育てる。

■ 展開の構想

- ・かぼちゃが、つるをぐんぐん伸ばしているときの気持ちよさをつかむ。
- ・みんなに注意を受けても聞き入れようとせず、自分勝手につるを伸ばしているかぼちゃの気持ちに気付かせる。
- ・車につるを切られて、ぼろぼろ涙を流すかぼちゃの姿から、やっと自分の行為がわがままだったことに気付き、反省するかぼちゃの気持ちに共感させる。

■ 基本発問(◎中心発問)

- つるをぐんぐん伸ばしているかぼちゃは、どんなことを心の中で思っているでしょう。
- みんなに道路や畑に伸びてはいけないよと注意されたかぼちゃはどんな気持ちになったでしょう。
- ◎ぼろぼろ、ぼろぼろ涙をこぼして泣きながらかぼちゃは、どんなことを考えたか。